



令和5年10月号

宗教法人 お告げのマリア修道会

聖マリア病院

- TEL:0959-72-5101
- FAX:0959-74-1771
- URL:<https://g-maria.jp/>
〒853-0052
長崎県五島市松山町 133-2



マリアの風 web

聖マリア病院設立75周年を迎えて

院長 山中 淳子

聖マリア病院は10月5日、現在地の五島市松山町で医療を開始してから75年目を迎えます。これに先立ち、1936年に始まった奥浦慈恵院付属の奥浦診療所での医療活動がありました。そこから数えますと87年目となります。長きにわたり今日まで歩みを続けてくることができたのは、多くの方々のご協力、お支えによるものであり、心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

これまでの歴史を振り返り、創設者の意志を引き継ぎ、さらに今後に繋げていくために記念誌を作成致しました。その作業を通して、私の心に最も響いたのは、奥浦慈恵院の活動を始めたキリシタンの女性たちの姿でした。長いキリシタン迫害の時代を生き、やっと信仰の自由

が認められた時、彼女たちが行ったことは無償の奉仕であったということです。当時最も虐げられていた捨て子の養育事業を行うことが彼女たちにとっての自由であったということです。これは私の想像ですが、迫害の間も、禁教令が解かれた後も彼女たちが大事にしていたのは隣人愛だったのではないのでしょうか。

子供たちのための87年の医療活動、地域に開かれた75年の医療活動、そこに込められた先輩達の志。聖マリア病院は隣人愛を理念に掲げ医療を続けていますが、これからも皆様のお役にたてる病院として成長して行かなければならないと、気持ちを引き締めています。時代に流されるのではなく、時の必要を見極め、それに応えられる奉仕者となる、これが私達の使命です。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

院内トピックス

勤怠管理システム運用

10月から勤怠管理システムが運用開始となります。勤怠管理システムとは、出退勤時間の打刻・記録から、残業や各種休日休暇の申請、シフト作成、労働時間の集計など勤怠管理に関する業務全般を支援してくれるシステムです。システムの導入により、これまで手作業で行っていた労働時間の集計や給与計算にかかる手間を削減でき、法律に対応した適切な勤怠管理ができるようになります。打刻や勤務表づくりなど変更点がいくつかあり、慣れるまでにはもう少しばかり時間がかかりそうです。

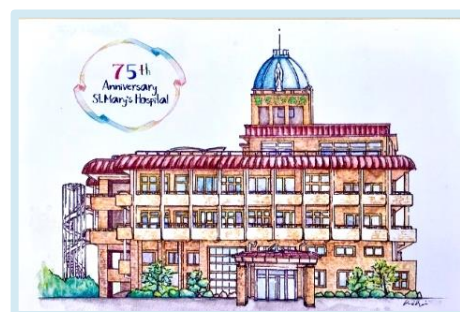


聖マリア病院 75 周年記念誌、

記念カード作成

昨年9月より作成に取り組んできた聖マリア病院 75 周年記念誌『私たちの召命～病める人と共に 75 年～』が完成しました。聖マリア病院の歴史や各部署の紹介に加え、職員座談会や院長先生へのインタビュー記事などが掲載されています。病院全景を描いた自作の記念カードを添えて、職員と関係各所に配布します。

病院スタッフをはじめ、記念誌作成にご協力くださった皆様に感謝いたします。



ありがとうコーナー

聖マリアの園から派遣され研修中だった看護師の松谷さんは、研修期間を終えました。



聖マリアの園から約5ヶ月間、臨床でしか学べない看護や処置、急変時の対応等学ばせていただきました。

臨床の場合は毎日入退院が激しく、患者さんお一人お一人を知ることから始まりました。個別性にあった看護を提供するためには、客観的なデータのみだけでなく患者さんからの主観的なデータが必要です。そのため私は、空いた時間は患者さんのところへ行き、できるだけ多くの事を知り、より患者さんが求めている看護に近づけるように意識して行いました。あまりに患者さんの所へ行き過ぎて、しなければならない事ができない時もありました。また、私は一つの事に没頭してしまい、周りが見えず、患者さんのSOSに気づけず、他のスタッフが気づいて対応していただく場面が多かったです。患者さんに看護を提供するにあたり、やるべきことを時間内に行うために、優先順位を決めること、きめられたことだけでなく、周りの人の必要を感じとり行動することを大事にしなければいけないと改めて学ぶことができました。

学生時代、新型コロナウイルス感染症の影響であまり実習など行けず、病棟の雰囲気や患者さんとの向き合い方、コミュニケーションの中から必要な情報をとる方法を実際に学べなかった分、とても難しく、厳しいと思うことがありました。周りの看護師さんを見て、聞いて、時に励ましてもらったりして頂き、看護を提供しながら、ほんとに沢山の事を学ぶことが出来ました。

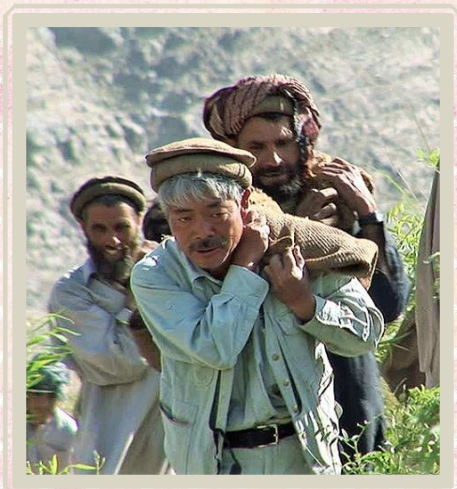
お忙しい中約5ヶ月間ご指導して下さいありがとうございました。学んだことを施設で活かして頑張っていきたいと思います。

ある日のひとこま



中庭のブーゲンビリアが満開に咲いています。

夏のイメージがあるブーゲンビリアですが、鮮やかなピンクが秋晴れの空によく映えます。元気が出る色です。



『荒野に希望の灯をともし』

アフガニスタンで活動した
医師、中村哲さんの生の軌跡を
たどるドキュメンタリー映画

■日時：10月8日（日）

13時～15時

■場所：福江文化会館

■料金：大人 1,000 円 /中・高校生 500 円 /小学生以下 無料

- ・10月8日（日） 13時 聖マリア病院設立75周年事業
映画上映会
- ・10月12日（木） 18時 75周年記念ミサ・祝賀会
- ・10月21日（土） 13時 地域清掃活動

*10月はロザリオの月です。毎日16時と20時にロザリオの祈りを放送します。病者の為、また世界平和のために聖母マリア様の取次ぎを願って祈りましょう。

編集後記

聖マリア病院のルーツは奥浦修道院と「小部屋」にあります。明治初期、キリシタン弾圧後に、五島に派遣されたフランス人宣教師マルマン神父に協力し、捨てられていた幼児を助け、育てる女性たちがいました。貧しく、経験も知識もない彼女たちは、ただひたすらに働き、神と人々への愛に生きる信仰によって困難を乗り越えていきました。病弱な子どものために、医師をはじめ諸々の専門職を身につけた会員を養成し、診療所を開設。やがて聖マリア病院となっていたのです。「会員が犠牲と一致の精神を持って励むならば、同会の事業は必ず祝福されるでしょう。」医師養成の立て役者、出口市太郎師のことばです。（編集者）